

鉈屋町 町内会だより

雪の中の資源回収

1月10日

資源回収の朝、まだ雪が降り止まず、けっこう積もつてもいます。7時半にダンボールとかを持って行きましたが、誰もおらず資源もおいてない。本当にやるのかな？



他の回収場所も回ってみたら町内会役員の方々がいらつしや

不定期発行
発行者 鉈屋町町内会
編集/文責/撮影 桂 汎用工房 脇田 桂一郎
印刷 小松総合印刷株式会社

いました。年始のあいさつをしつつお尋ねしたら、本日は雪天決行だそうです。



外を歩くのが大変なので、家の前に置かれた資源を集める軽トラックが大奮闘です。

道路状況が悪いため、回収車の到着もやや遅れましたが、無事完了しました。

寒い中手伝ってくださった皆様、佐々兼商店さんの方々、ありがとうございました。



次回の資源回収は3月14日、日曜日になります。皆様のご協力をお願いいたします。



盛岡まち並み塾が 鉈屋町の活動で受賞

新聞報道などでご存知の方もおられるかと思いますが、NPO法人盛岡まち並み塾が、国土交通省の手づくり郷土賞(二般部門)を受賞しました。

ところが世の中がこんな状況なので、授賞式が無期延期になってしまったとのこと。本来なら授賞の写真と共に掲載したかったですが残念です。

まずはおめでとうございます、そしてこれからもよろしくお願いたします。

No. 2 (岩手県・盛岡市)
盛岡市鉈屋町界隈
～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～



<活動内容>
城下町の風情と暮らしが息づく鉈屋町界隈では、H15年から歴史的な街並みと文化を資源とし、保存・継承・活用、地域活性化に繋げる活動を行っている。町家の改修推進のため、「街並み修景フォーラム」の開催、現地見学会、季節のイベントなどを住民と協働で実施。建物修景軒数は10年間で28軒、うち新規移転や開業が21軒と、賑わい創出に寄与している。H22年からはまち案内の拠点設置(年16,000名利用)や、「盛岡町家de手づくり市」を毎年開催し、R元年は出店70組、来場者15,000名と、若者の参加や賑わいが定着した。

<地域活動団体>
特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾

国土交通省HP
手づくり郷土賞資料より抜粋

令和3年盛岡市 消防出初式

1月10日に令和3年の盛岡市消防出初式が行われました。盛岡城跡公園での式典は関係者のみで入場できないとのことでしたので、大通の分列行進を観覧してまいりました。



東大通に集合した消防車。特殊車両好きには目の保養です。

行進が始まります。第2分団の旗手は一盃森裕司さん(左から2番目先頭)。



各分団は3中隊に分かれて行進、隊の中に分団員が混在しているため、第2分団の方だけを狙うのはちよつと無理でした。



そしてまだ新しい第2分団のポンプ車。この車両、ナンバーも「2」なんですすよね。

皆様も火の元にはお気を付けてください。今年も火災出動が無いうように心がけましょう。



わが町 バンザイ! 大慈寺小学校5年生



オープニング



(株)あさ開
さん



十文字御休處
一益森さん



こうじ屋
細聖酒店さん



some-mono
佐々木龍大さん



青龍水
大基清水



石岡興産店
さん

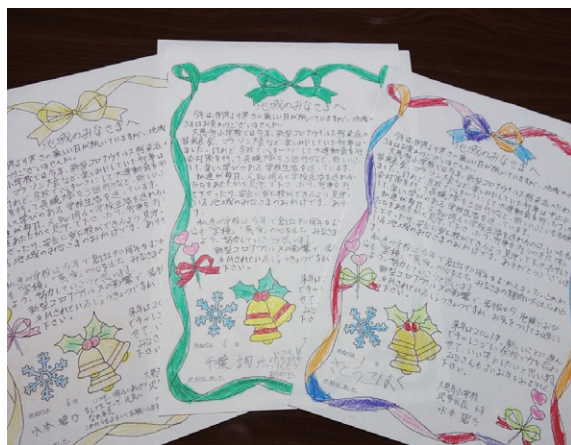


エンディング

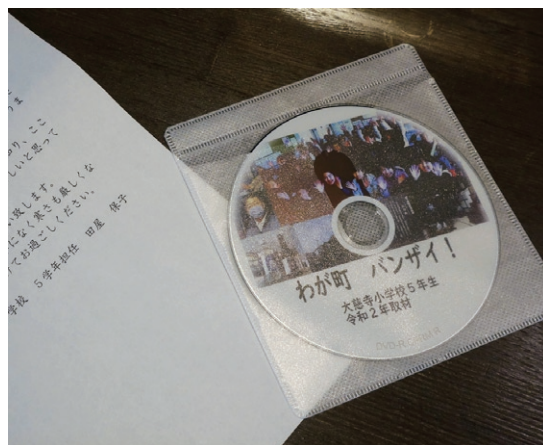


昨年で創立90周年を迎えた大慈寺小学校は、大坊公二顧問による先生方の学習会を行うなど、周辺地域との関わりを大事にしています。
5年生の総合学習では鉾屋町周辺の店舗などを訪問し、学習の結果を生徒たちが紹介するDVDを作成しました。

大慈寺小学校と 地域の関わり



また、地域の方々への感謝状も届いております。回覧板に添付されますので、皆様どうぞご覧ください。



聞くところによると、このDVDは校長先生が編集したとか。

仕事柄 古い建築の調査が多
く、そのときに重要な情報源と
なるのが古写真なのです。
そこにこの建物が写っているか
ら、あの辺からこちら方向を撮
ったであろうという位置判定。



過去を封じ込めた古写真
おもいで写真展
今回で2回目となる「鉾屋町・
大慈寺町界隈 おもいで写真展」
を見に、もりおか町家物語館に
行ってきました。この企画
は楽しみで、じっくりと観察し
てきました。

個人的には盛岡の町中を通つ
ていた水路を見てみたいと、ず
つと思っていました。昭和30年
代くらいまでは暗渠化されてい
ないところも多かったので、菜
園の赤川や、大慈寺山門前の水
路などの写真が残っていないだろ
うか、と待ち望んでいます。



この建物が解体されず残ってい
て、あの店がまだ開店してない
から、これは昭和何年ごろとい
った時代判定。
そんな事をずっとやってきたの
で、古写真を見るとちよつと血
が騒ぎます。

伝統と アートの融合、とは？

もりおか町家物語館で行われている「時空をつなぐ現代アート展」に行つてまいりました。



思えば母屋の2階に上がるのは久しぶりな気がします。



現代アートの定義はさておき、伝統的な空間と、新しくも異質なモノとの融合というのは新鮮な感覚です。



この感じで思い出したのが、東和町土澤で行われていた「街角美術館アート@つちざわ」でした。最近はクラフトフェスタだけのようですが、またいろいろな建物の中に作品を展示した美術展を見てみたいものです。

町家物語館さんのさらなる企画にも期待しております。

編集後記に代えて

「とととー盛岡の泊まれるたまり場」の小野寺さんが「雪あかり」を作っているので写真を撮らせてもらいに行つたら、お話しするうちに「脇田さんも作りましょうよ」ということになりました。



一通り作り方を教わり、次の日からやつてみようという前夜、^{いざし}苟も設計を生業とするものならば、独自の発想や造形が必要なのではないか、と余計なことを考え始めてしまう始末。

で、なんとなく建築つぽく「板状のもの」とか「四角いもの」にしようと思いたち、意地にな

って作つてしまいました。

板は台所用品のステンレスバットに雪を詰め込んで固めたもの。



これがけつこう崩れやすく、2日目、3日目には霧吹きで水を染ませて固めたり、食塩をまいて凝固点降下で凍らせたりといった小技も開発。

4日間やつて、用意したロウソク30個を使い果たし、現在お休み中です。

次回作はどうしよう。雪が降つたら考えます。(桂)

